

鎌ヶ谷市の財政をちょっと見てみよう

～令和4年度決算版～

はじめに



鎌ヶ谷市では、予算や決算をはじめとした財政に関する情報を積極的に発信しております。より多くの方に財政状況を知っていただきたいと考え、わかりやすい表現を心がけて「鎌ヶ谷市の財政をちょっと見てみよう」を作成しました。

市の仕事は、学校・福祉・ごみ処理・道路整備など、みなさんの生活に密接に関係したものばかりです。ぜひ、みなさんが、市の事業や財政状況をより身近に感じていただければと思います。

もくじ

- P 2 1時限目 そもそも財政ってなんだろう
- P 3 2時限目 1年間でどれくらいのお金を取り扱っているの？
- P 4 3時限目 どんなお金が入ってくるの？
- P 5 4時限目 市民のみなさんからどのくらいお金を納めてもらっているの？
- P 6 5時限目 何のため（目的別）にお金を使ったの？
- P 7 6時限目 どんなこと（性質別）にお金を使ったの？
- P 8 7時限目 教育にはどれくらいお金を使ったの？
- P 9 8時限目 貯金はどれくらいあるの？
- P 10 9時限目 借金はどれくらいあるの？
- P 11 10時限目 家計におきかえるとどうなるの？
- P 12 11時限目 お金の使い方はどうやって決めているの？
- P 13 12時限目 こういうことにお金を使いました
- P 14 13時限目 これからの予測はどのなの？
- P 15 14時限目 財政状況は大丈夫なの？

(注) おことわり

これから出てくる「県内37市」の比較は、総務省が定めた全国一律ルールである普通会計決算に基づいた決算額としています。

「県内37市」とは、鎌ヶ谷市を含む千葉県内の全市です。



テレビや新聞で「財政が・・・」ということを知ったことがあります。でも、そもそも、「財政」ってなんですか？

国や地方公共団体（千葉県や鎌ヶ谷市など）がお金をやりくりすることを「財政」といいます。

具体的には、市民のみなさんや企業の方に納めていただいた税金、国や県から入ってくるお金、銀行からの借金、将来のために積み立てた貯金などを使って、学校、公民館、道路などの公共施設を整備したり、教育や福祉などの公共サービスを提供したりすることです。



《イメージ》

財 政

(市に入ってくるお金)

税金、寄附金



国・県からのお金



銀行などからの借金



鎌
ヶ
谷
市

地方公共団体



(市から出ていくお金)

公共サービスの提供



(例) 福祉・教育・防災



(例) 道路整備



鎌ヶ谷市は1年間でどれくらいのお金を取り扱っているのですか？

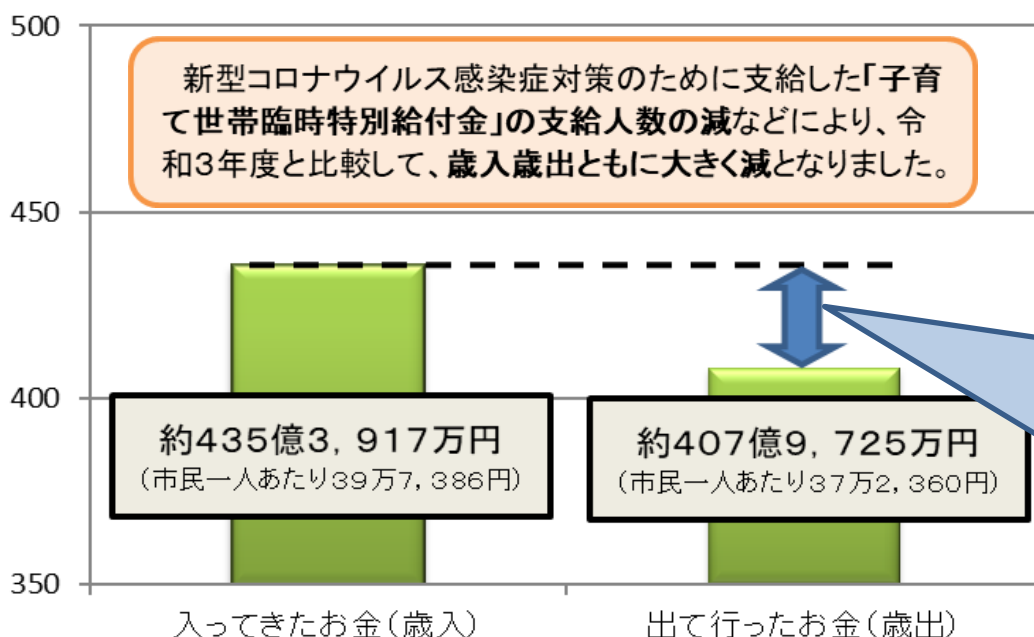


では、令和4年度にどれくらいのお金を扱ったのか、一般会計決算額をちょっと見てみましょう。

「一般会計」とは、福祉・教育・道路整備など、市の基本的な事業の収支を表す会計です。

■ 令和4年度 一般会計 決算額

(単位: 億円)



この差額(形式収支)約27億円から、翌年度に繰り越す事業の財源を除いた額(実質収支)は、約25億円(黒字)となりました。

(令和5年1月1日の住民基本台帳人口の109,564人から算出)

～ちょっと想像してみよう～

歳出の約408億円が一体どれくらいの高さになるか、1万円札を積み重ねてみると・・・

なんと、約408メートル※になります。

※100万円で1センチメートル

(参考) 東京タワー・・・333メートル

鋸山(千葉県)・・・329メートル



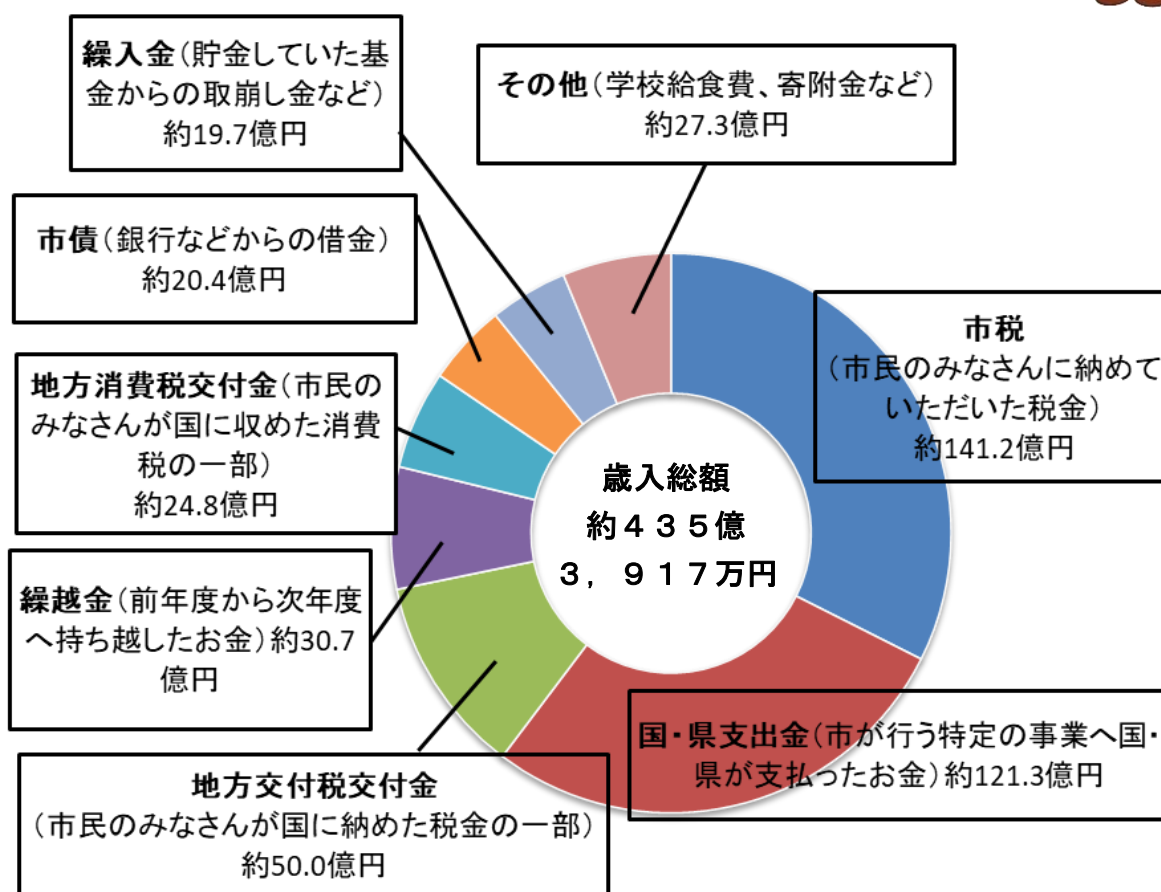


鎌ヶ谷市にはどんなお金が入ってくるのですか？

それでは、令和4年度に鎌ヶ谷市に入ってきたお金（歳入）をちょっと見てみましょう。



■ 令和4年度 一般会計 歳入 決算額



鎌ヶ谷市は、市民のみなさんに納めていただいた税金に加え、国・県からもらうお金や、銀行などから借金をして運営しています。
 「市税」は、市にとって、とても重要な財源となっています。
 また、できるだけ鎌ヶ谷市内でお買い物をしていただくことや、他市にお住まいの方に鎌ヶ谷市へのふるさと納税（ご寄附）を勧めさせていただくことも歳入アップにつながります。

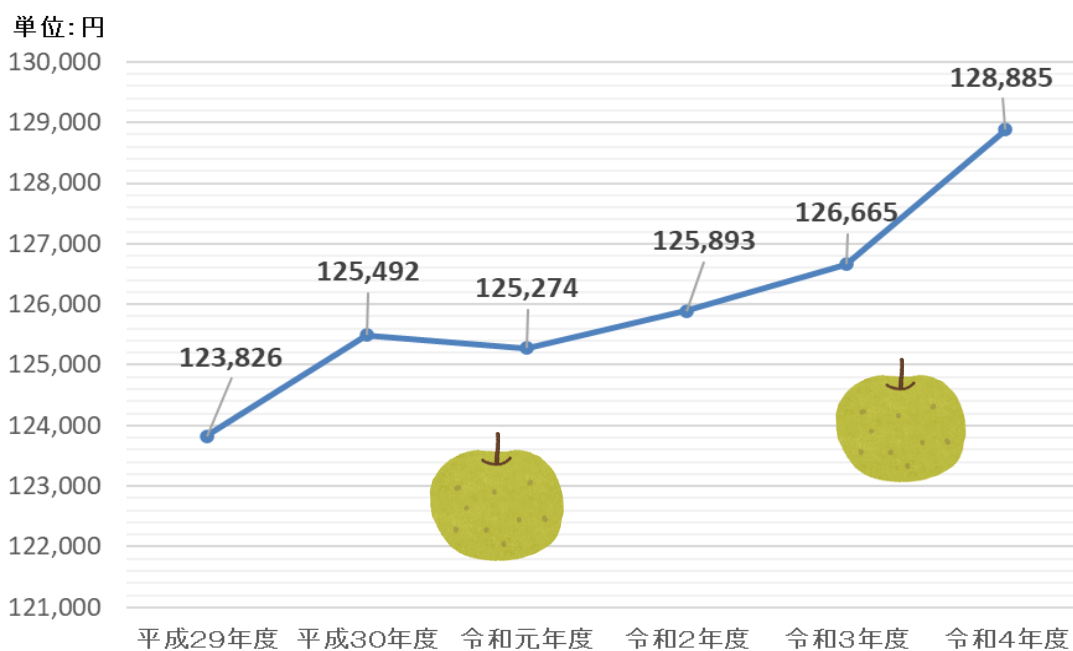
4 時 限 目

市民のみなさんからどのくらいお金を納めてもらっているのですか？



市民一人あたりの市税収入（市民のみなさんに納めてもらった税金）をちょっと見てみましょう。

■ 市民一人あたりの市税収入の推移



(令和5年1月1日の住民基本台帳人口の109,564人から算出)



令和4年度の市民一人あたりの市税収入は、約12万8,885円で県内37市中多い方から28番目です。これは、首都近郊の住宅都市として発展した本市には企業や工場が少ないため、法人市民税や固定資産税が極端に少ない財政構造となっているためです。

他市に比べて、市税が少ないということは、鎌ヶ谷市が自由に使うことができるお金が少ないということになります。

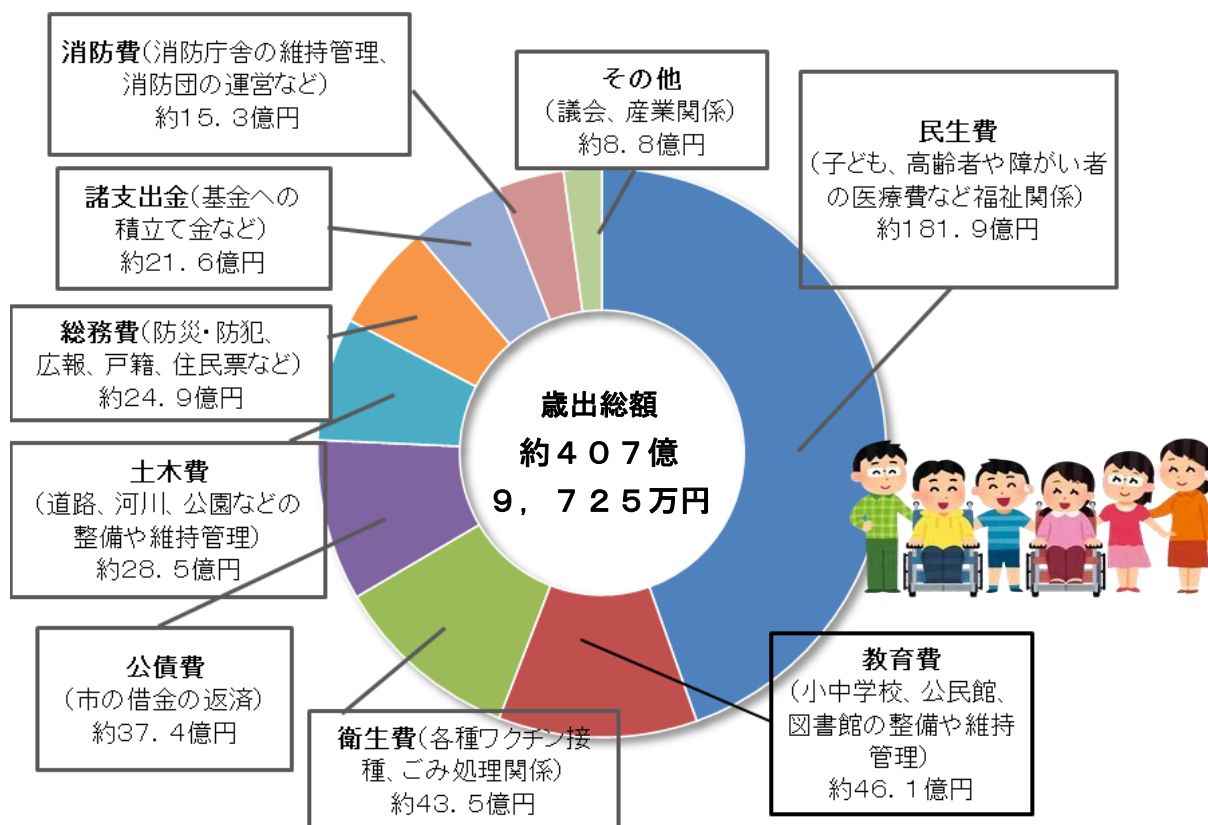


では、「何のため」（目的別といいます。）にお金を使ったのですか？

令和4年度に鎌ヶ谷市が何のためにお金（歳出）を使ったのか目的別決算額をちょっと見てみましょう。



■ 令和4年度 目的別 歳出 決算額



一番多いのは民生費で約181.9億円と全体の44.6%を占めています。新型コロナウイルス感染症対策として実施した給付金など、健康福祉（医療費や保育園・児童センターなど）の関係にとっても多くのお金をつかっていることがわかります。

そのほか、教育費（学校の整備など）、衛生費（各種ワクチン接種など）や公債費（借金の返済）に多く使われています。



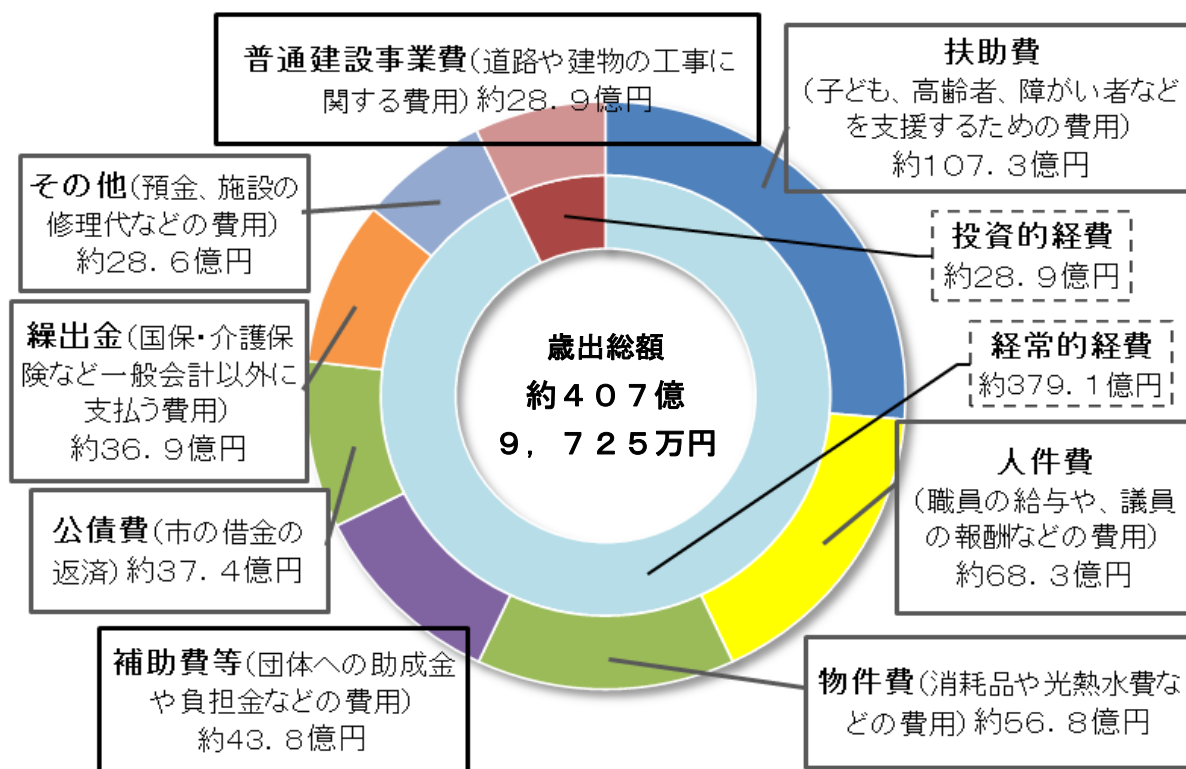
「どんなこと」(性質別といいます。)にお金を使ったのですか?

令和4年度に鎌ヶ谷市がどんなことにお金(歳出)を使ったのか性質別決算額をちょっと見てみましょう。

ちなみに、光熱水費や借金の返済など毎年決まって支出しなければならない経費を「経常的経費」といい、道路の建設や施設の改良などに使われる経費を「投資的経費」といいます。



■ 令和4年度 性質別 歳出 決算額



経常的経費(一時的な経費も一部あり)が全体の約93%を占めています。

今後は、少子高齢化の影響による補助費や医療・介護保険など一般会計以外に支払う繰出金が増えることが見込まれています。

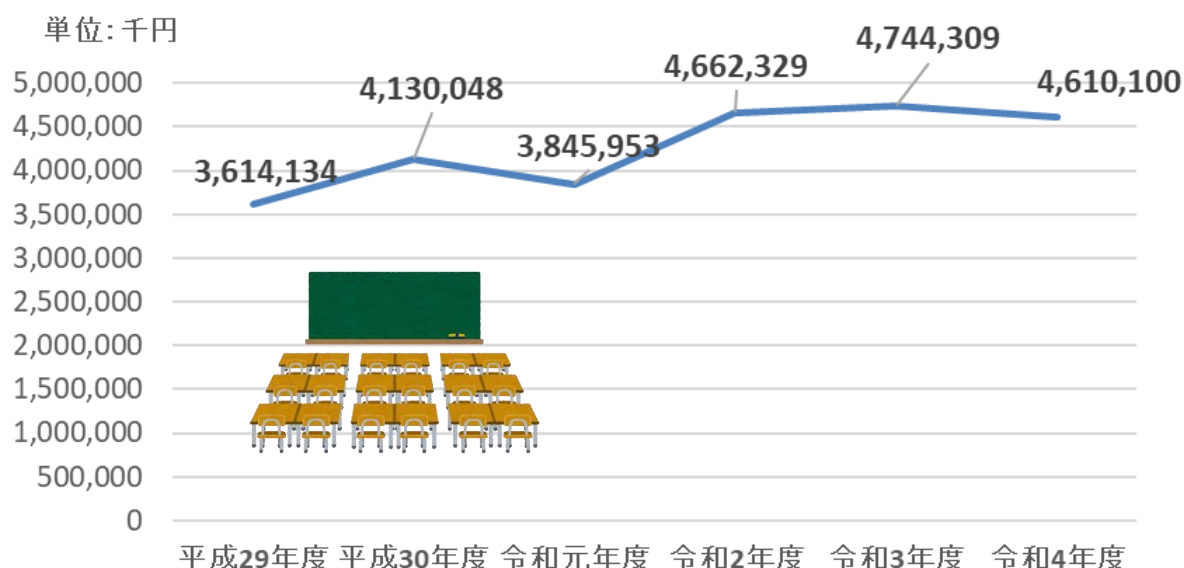


ちなみに、僕たちが通う学校などの「教育」にはどれくらいお金を使ったのですか？

それでは、近年の教育費（決算額）の推移をちょっと見てみましょう。



■ 近年の教育費（決算額）の推移



令和4年度の鎌ヶ谷市の教育費は、約46億1,010万円でした。この教育費には、小・中学校でみなさんが安心して勉強できるように実施した学校の改修工事費、コンピュータの維持費、学校の電気代や水道代なども含まれています。

令和4年度には、中学校トイレ改修、第三中学校非常放送用設備改修、南部小学校体育館改修、東部小学校外壁・屋上防水改修などを実施しました。

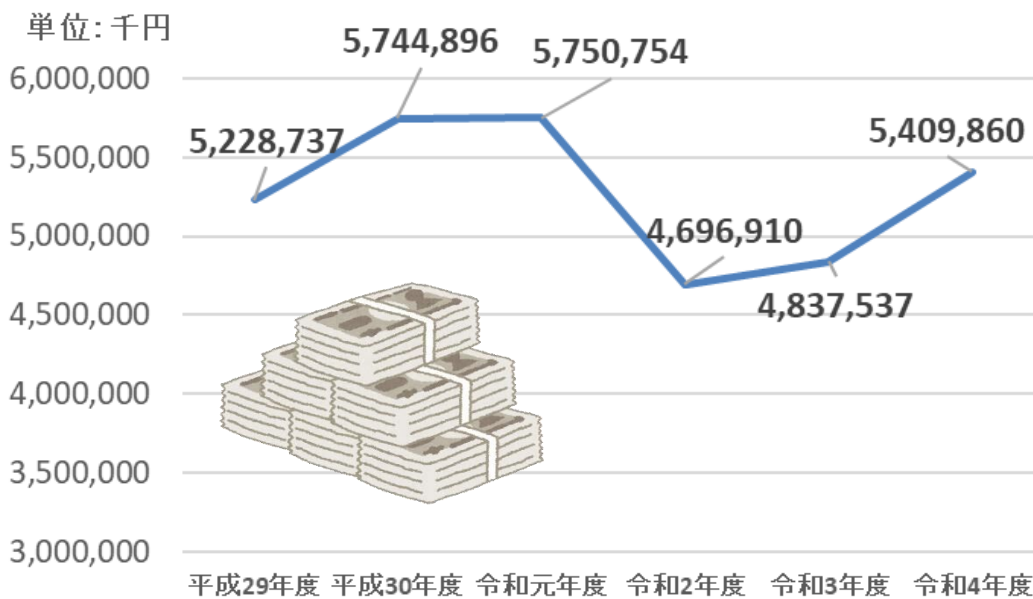
ほかにも、公民館、学習センター、スポーツ施設、郷土資料館に使ったお金なども含まれています。

いろんなことにお金を使っていることがわかりましたが、鎌ヶ谷市に貯金はどれくらいあるのですか？



鎌ヶ谷市をはじめ地方公共団体は、将来の経済的な影響や災害などに対応するため、目的に応じた貯金をしています。これを、市では「基金」と呼んで管理しています。基金（貯金）残高をちょっと見てみましょう。

■ 近年の基金（貯金）残高の推移



鎌ヶ谷市の令和4年度末の基金残高は約54億円で、市民1人あたり約4万9千円となりました。

基金残高は、鎌ヶ谷市の財政状況が一番厳しかった平成19年度末と比較すると約45億円の増加となります。

令和4年度では、新型コロナウイルス感染症対策の財源などとして貯金を使いつつも、前年度からの繰越金が増加したことなどから、令和3年度末と比較して約6億円の増加となりました。



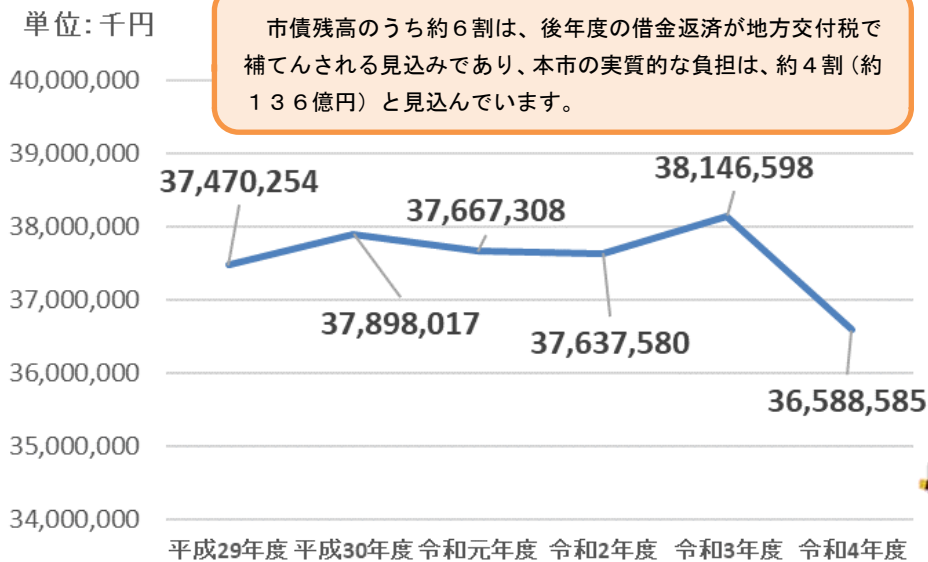


これからも借金の返済があるという話がありましたが、鎌ヶ谷市の借金はどれくらいあるのですか？

市の借金は、市債の状況で見ることでわかります。
市債とは、市が仕事に必要なお金を銀行などから借りたお金（ローン）のことです。
市債（ローン）の残高を見てみましょう。



■ 一般会計の市債（ローン）の年度末残高の推移



令和4年度末の市債残高は約366億円です。市民一人あたりの市債残高は約33万4千円、県内37市の中で借金が多い方から14番目です。

でも、「貯金があるのに何で借金するのだろうか？」という疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。

学校などの施設を建てると、その後は何十年と使いますので、建てたときの人たちだけでこのお金を全て負担するのは不公平です。分割して支払うことで、将来の世代の人たちにも公平に負担していただくためです。また、建物や道路の整備には多額の費用がかかるため、一度に支払ってしまうと、その年度は他のことにお金を使うことができなくなってしまいます。

それにしても鎌ヶ谷市が扱うお金はとても多いですね。
鎌ヶ谷市の財政（決算）を家計におきかえるとどうなりますか？



鎌ヶ谷市の1年間の収支を家計簿にあてはめてみました。
家計と市の会計では、お金の使い道も規模も全く違いますが、令和4年度に鎌ヶ谷市へ入ってきたお金約435億3,917万円を年収600万円の家計に例えてみました。

収
入

家計		市の会計		金額
給料		市税		195万円
駐車場収入など		使用料・手数料など	自主財源	70万円
貯金の利子、取り崩し		財産収入、基金繰入金		25万円
親からの 仕送り	使い道が決まっている	国・県支出金		167万円
	自由に使える	地方交付税	69万円	
借金		市債		28万円
その他の収入		地方譲与税など		46万円
合 計				600万円

支
出

家計	市の会計	金額
医療費	扶助費 ※	148万円
光熱水費など	物件費・補助費など	138万円
食費	人件費	95万円
家の増改築	普通建設事業費	40万円
子どもの習い事	他会計出資金	2万円
子どもへの仕送り	他会計繰出金	51万円
借金の返済	公債費	51万円
家の修理代など	維持補修費など	4万円
貯金	積立金	33万円
合 計		562万円

家計でいうと医療費（扶助費）が多くかかっていることがわかりますね。





入ってくるお金のなかでやりくりしていることが分かりましたが、お金の使い方は一体どうやって決めているのですか？

まず市長をはじめとした市役所職員みんなで、市民の皆さんの意見を考慮しつつ、計算や議論をしてどれだけのお金が入ってくるのかと使い道の案（予算案）を考えます。

そして、その編成した案を鎌ヶ谷市議会に提出して、皆さん市民の代表である市議会議員の方々と更に慎重に話し合っ
て、最終的には市議会で予算として決定されます。

実際に来年度の予算をつくる流れを見てみましょう。



■ 令和6年度の予算編成スケジュール（予定）

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

予算編成のルール（方針など）や今後の日程を決めます。

それぞれの部署が予算の要求案を決め、財政担当部署に提出
します。

提出された予算案について、財政担当職員がそれぞれの部署
の職員と一緒に内容の確認を行います

財政担当課長などによる予算案の策定を行います。

財政担当部長による予算案の策定を行います。

市長・副市長・教育長・各部長などで予算案について調
整し、市長が予算案を決定します。

市長が市議会に予算案を提出し、議会での審議が始まりま
す。

市議会での審議の結果、承認がなされれば、最終的に予算
として決定します。



大きな買い物をするときの家族会議のようなイメージですね。
なお、不測の事態になり決まった予算ではお金が不足するようときは、「補正予算」をほぼ同様の流れで編成していきます。基本的には市議
会で6月・9月・12月・3月に補正予算があれば審議しています。



令和4年度は、主に次のようなことに市の予算（お金）を使いました。みなさんに身近な学校や公園、さらには新型コロナ対策を中心に取ります。

<p>【新型コロナウイルス感染症対策】 新型コロナウイルスワクチン接種 13億5,417万円 ワクチン接種体制を構築するとともに、順次接種券を発送し、接種を実施しました。</p>	
<p>義務教育施設維持補修事業 8億3,618万円 中学校トイレ改修（全小中学校でのトイレ洋式化完了）、第三中学校非常放送用設備改修、南部小学校体育館改修、東部小学校外壁・屋上防水改修などを実施しました。</p>	
<p>【新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策】 キャッシュレス決済ポイント還元事業 1億2,057万円 長期化する新型コロナウイルスの影響や原油価格・物価高騰に対する地域経済の活性化を図るため、市内の対象店舗でキャッシュレス決済時のポイント付与を実施しました。</p>	
<p>多子世帯の保育料や学校給食費の減免 6,291万円 新たな子育て世代への支援として、保育料について、所得に関わらず18歳未満の子を対象に、第2子は半額、第3子以降は全額を免除しました。給食費については、児童・生徒を3人以上養育している世帯について、第3子以降半額を免除しました（令和5年1月からは全額免除）。</p>	
<p>通学路安全対策事業 2,945万円 登下校時の安全確保のため、路面標示・注意看板の設置や路面のカラー舗装工事、自転車交通安全教室などを実施しました。</p>	
<p>市制記念公園の水遊び場設置に向けた設計 283万円 令和6年度中に市制記念公園内に水遊び場を整備するため、整備に向けた設計を実施しました。</p>	

これからの金のやりくりはどうなることを想定していますか？



鎌ヶ谷市では、「当初予算を作ったあと」、「決算が固まったあと」の年2回、今後6年間の財政推計をしています。

この財政推計を「中期財政見通し」と呼んで、市のホームページに掲載しています。

令和4年度決算を踏まえて推計した今後の見通しは下の表のとおりです。



<中期財政見通し（抜粋）>

（単位：億円）

区分	R6 推計	R7 推計	R8 推計	R9 推計	R10 推計	R11 推計
歳入	407.4	406.7	415.1	409.3	411.1	410.7
歳出	407.4	406.7	415.1	418.4	423.2	428.3
収支差	0.0	0.0	0.0	▲9.1	▲12.1	▲17.6



今回の見通しでは、これまで蓄えてきた基金（貯金）を活用することで令和8年度までは財源不足を生じさせないで金のやりくりができる状況にあります。

しかし、各年度の予算編成で歳入の確保や歳出の削減の取り組みを行わない場合、令和9年度以降は、財源不足が生じることを見込んでいます。

この対応として、各年度の決算状況などにより、必要に応じて計画の見直しを行うなど、毎年度の予算編成の中で対応していきます。



いろいろと説明してもらいましたが、鎌ヶ谷市の財政状況は大丈夫なのですか？

鎌ヶ谷市は、過去に一度も赤字になったことはありません。
今回お伝えした令和4年度決算では、約25億円の黒字（※1）となっています。

また、国は地方公共団体の財政状況を統一的な指標（※2）で明らかにするため、法律により注意しなければならない基準（※3）を設けています。

現在の鎌ヶ谷市はこの基準をクリアしています。

ただし、少子高齢化の進展により福祉にかかる経費（扶助費や繰出金）が増加しているほか、借金の返済など、義務的なお金も増加しています（※4）。このため、行財政改革を進め、毎年度の予算編成の中で一層の歳入確保・歳出削減を行っていきます。さらに、国の地方に対する財政政策を注視し、市民サービスの向上に配慮しつつ、今後とも堅実で持続可能な財政運営に取り組んでいきます。



※1 国が定める全国統一の計算方法で「実質収支」のことをいいます。

「実質収支」とは、2時限目で出てきた歳入と歳出の差額（形式収支）から、令和4年度に完了できず、令和5年度へ繰り越した工事などのための繰越金を差し引いた額のことです。

※2 国は市町村が借金をし過ぎないように、実質公債費比率（標準財政規模に対する借金の返済額の大きさを示す指標）と将来負担比率（標準財政規模に対する債務残高の大きさを示す指標）を設けています。

※3 早期健全化基準（いわゆるイエローカード）のことをいい、この基準を上回らないことで財政状況が健全であるといえます。

《参考》

令和4年度決算における実質公債費比率 4.9%（早期健全化基準 25.0%）

将来負担比率 32.2%（早期健全化基準 350.0%）

※4 経常収支比率（市税など決まった収入が、必ず支払わなければならない経費にどれくらい使われているかを示す指数）は、90%を超えています（令和4年度決算では、国基準で95.4%）。この比率が低ければ低いほど財政に余裕があり、自由に使えるお金が多いことを表します。逆に100%に近づくと余裕が無くなっていきます。いかに歳入を増やし、支払わなければならない経費を少なくするかが今後の課題です。